



# なかすぎ

## 一杉並稲門会 第4ブロック報一

Vol. 11



杉並稲門会第4ブロックの皆様へ

スポーツ界や大学で権力者として君臨してきた者の不祥事が頻発している。恫喝や不正も厭わず、イエスマンを集めて自分の王国を作り上げてきた歪みの構図は共通している。権力者に盲従してきた取り巻きの責任も問われるが、組織全体に声をあげても無駄との無力感があったのではないか。権力者は謙虚であるべきで、大隈重信侯の名言「施して報を願わず、受けて恩を忘れず」を心すべきであろう。

### 第59回・60回懇親会

3月2日(金)に49名の参加者をお迎えして、第59回懇親会は荻窪の「つばめグリル」で開催された。料理に定評のあるレストランなので固い話は抜きにして、美味しく飲食し歓談を楽しむ。会が盛り上がった頃に、川柳つくし師匠が司会するクイズ大会があり最高潮になった。



第60回懇親会は新会員3名と15名のゲストを加え51名の大人数で7月29日(日)に阿佐ヶ谷神明宮で開かれた。今回は節目の会でもあるので二部構成だ。まずは4ブロックの誇る女性芸人の競演会。まずは三味線を手にした新会員で端唄の師匠の朝川玲伎(高井亜古)さん。

会場と掛け合いする演出もあり、粋な声音に拍手喝采だった。続いてお馴染みの川柳つくし(熊井佳奈子)師匠が登場。今回は古典落語の「番町皿屋敷」をたっぷり聞かせる。この勢で懇親会に入り、歓談の合間には、他ブロックの代表世話人や新会員の方々からスピーチがある。また、神明宮の齋藤宮司からは新しい年号になる来年に阿佐谷を元気にするイベントを行うとの発言があり、これもまた拍手。早大総長が代わるタイミングなので歴代総長のスライドも映写された。最後に元応援団長の清水一平さんの校歌指導とエールで楽しかった懇親会はお開きになった。



### 第18回社会見学ツアー



第18回社会見学ツアーは、「リニア新幹線見学センター」と「富士芝桜」が目的で、44名が参加して5月8日(火)に行われた。バスの中では東芝や神戸大学でリニアの研究をされた4Bの小豆澤照男さんの解説がある。幸運にもセンターでリニア新幹線の走行実験が見られ、皆さんは興奮気味でカメラに収めていた。炉端焼きの昼食を楽しんだ後は芝桜の花見。残念ながら満開を過ぎていたが、富士山をバックに咲くロケーションの良さがあり、元気に会場を散策しておられた。最後に「富士山世界遺産センター」を訪問し、スロープを登って富士山の擬似登山体験をして、社会見学と観光を併せたツアーは終了した。

### 一金会

毎回コメンテーターを招き、お話と歓談を楽しむ「一金会」は4回開かれ、いずれも好評だった。

- ・1月～辻本全志さんの「戦中・戦後の沖縄の歴史」
- ・2月～真下進さんの「早稲田大学は杉並区の子供達の未来にどのような支援をしているのか」
- ・4月～佐治恵子さんと「NPOカタリバ」の堂道まこさんの話
- ・6月～井口昌彦さんの「対米通告を遅らせたのは誰か」



スライドと配布資料を駆使して解説する井口さん

### 第4ブロックの行事予定

下記の通り開催します。皆様のご参加をお待ちします。

- ・9月7日(金) 一金会 17:00～ akaitomato
- ・10月2日(火) 社会見学ツアー ※行田市の歴史遺産
- ・11月2日(金) 一金会 17:00～ akaitomato
- ・12月 懇親会兼新会員歓迎会を開催 ※詳細は未定

## 【会員インタビュー】山田厚二さん(1971卒 理工) ~プロのブリッジプレイヤーとしてご夫婦で活躍~

[最初にブリッジゲームについてご説明ください]  
正式にはコントラクトブリッジといいます。トランプを使ったゲームで世界130国以上で親しまれ、チェスに次ぐ競技人口を誇っています。欧米では古くから楽しまれ、ポーカー、ジン・ラミーと並んでトランプの3大ゲームといわれています。4人で競技し、向かい合った者同士がペアを組んで戦います。囲碁や将棋はシングルス戦ですが、ブリッジはダブルスです。パートナーと作戦を共有して戦うのがブリッジの特徴であり、奥の深い点です。ちなみに、セブンブリッジとは全く異なるゲームです。

[日本におけるブリッジの歴史と現状はどうでしょうか]

戦前は主に外務省や商社など海外経験のある人が楽しんでいました。競技が終わるとパーティーを開くなど、一部ハイソサエティのゲームでした。山本五十六元帥も愛好者だったのですよ。戦後は大学生や若いサラリーマンがブリッジの面白さを知り、大学や企業にブリッジクラブができるなど広まってきました。今は、ゆとりのあるご高齢の方が、ブリッジ愛好者の中心になっています。



[ブリッジとの出会いとプロになった経緯は]

早稲田高等学院から理工の電子通信科に進みました。少しは勉強もしましたが、麻雀ばかりやっている学生でした。研究室に入ると、周りにブリッジをやる人が多く、ここでブリッジの面白さを知り私も始めました。これが出会いです。早稲田のブリッジクラブに入会したかったのですが、残念なことに当時は休部中でした。就職先は横河電機です。ここにはクラブがありブリッジが盛んに行われていました。当時は実業団で100ぐらいのクラブがあって、頻繁に対抗戦が開かれていたので、本格的に取り組み腕を磨きました。妻との縁もブリッジです。四谷のクラブに行った時、たまたま妻がいました。お互いに一人で来ていたので偶然にペアを組みました、それからペアは続き3年ほどで結婚した次第です。53歳で早期退職したのですが、暇な日が続きました。その時に、妻の勧めがあったのがプロになった経緯です。

[プロプレイヤーとしてのお仕事をご披露ください]

計画性があるプロになったのではありませんでしたが、30名ぐらいの生徒が集まりました。まず、グループレッスンがあります。1グループ4人、5人の生徒さんを月3回

自宅で妻と教えています。次がプライベートレッスンです。一人の生徒さんに同行してブリッジクラブに行き試合をします。生徒さんのほとんどが70~80歳の女性です。皆さんは試合で勝つのが主な目的ではありません。ちょっとお洒落をして外出し、お弁当を食べたりお喋りをし、ブリッジで頭の体操するのが楽しみで集まっています。強くなり若い人を教えているプロもいますが、私は高齢者の方が楽しく生きる手助けをするのが仕事だと思っています。

[国内外の競技会にも参加されていますね]

以前はよく参加していました。大きな大会で優勝したこともあるんですよ。目的は強い人と対戦できるからです。ただ、最近はブリッジで最も大切な集中力を長時間持続するのが厳しくなり、参加回数は減っています。また、海外大会に出るのは観光も大きな要素ですね。欧米では多額な賞金が出る大会があるのでトーナメントプロもいますが、日本やアジア・オセアニア圏では賞金も少ないので、それが目的ではありません。だから、日本には専業プロは20人ほどいますが、全員がレッスンプロです。

[最後にブリッジの効用について一言お願いします]

マインドスポーツとして8月のアジア大会の正式種目になり、早稲田ではブリッジの講義で単位が取れるなど単なるゲームの枠を超えるようになりました。確かに集中力や判断力などが身につきますよ。特に高齢者の方には脳トレ効果があるので認知症予防には適していると思います。東京には10か所ぐらいのブリッジクラブがあります。近くには吉祥寺・東中野・高田馬場・渋谷・四谷にあり、入門者向けの教室があるので、ご興味のある方は、日本コントラクトブリッジ連盟(JCBL)のホームページをご覧ください。

※日本コントラクトブリッジ連盟 <http://www.jcbl.or.jp/>



1992年香港大会で優勝(左から3人目)

### 新会員の皆様をご紹介します

杉並稲門会では4月から会員増強運動を行い、現在までに66名の方が入会されました。その内、第4ブロックの新会員は14名でした。新しい仲間の方々をご紹介します。岡本昭彦(84年社学)阿佐谷北1/萬代晃(69年商)阿佐谷南1/大塚葉(84年法)阿佐谷南1/阿部暢夫(63年理工)阿佐谷北5/高井亜古(朝川玲伎 82年文)成田東4/宮武剛(68年政経)成田西1/森山秀夫(75年政経)渋谷区恵比寿/谷本博史(77年政経)さいたま市/小川和男(77年政経)阿佐谷北6/岡野尚子(79年文)成田東1/藤森淳一(75年政経)横浜市/関利男(83年政経)阿佐谷北3/鈴木興(66年法)阿佐谷南1/板倉みどり(早大職員)阿佐谷北3 ※敬称略、入会順

情報やご意見をお寄せください

発行責任者: 第4ブロック世話人代表 西野正浩

編集責任者: 柄谷隆宏 ☎03-5932-2598

メールアドレス: t.karatani@jcom.home.ne.jp

2018年8月発行



奥様(尤子さん)とペアを組んで優勝した1990年高松宮杯